

シルバー だより



令和元年6月19日 定時総会(文化会館 あさひのホール)

ごあいさつ

会長 加藤 紘司

元号が令和となつて初の尾張旭市シルバー人材センターの定時総会となりますが、来賓の皆様、そして大勢の会員の皆様には、お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

昨年度は、研修会の開催や安全用品の拡充などにより安全就業のさらなる強化に努め、就業中の事故やけがを減らすことができました。また、一昨年から始めたわらじづくり事業においても、十名を超える会員で同好会を結成し、二百足のわらじを販売しております。また、希望者を対象に、せん定や草刈り・草取り・ふすまの張り替えなどの仕事見学会も開催しました。さらに、一月から三月にかけて、会員が一般家庭を訪問し、会員勧誘や会員募集チラシのポスティングを行い、会員数が増加するなど効果を上げております。

さて、令和元年度の事業でございますが、安全就業の取り組みを強化するとともに、昨年度に続き、新規会員の加入促進に取り組みます。また、会員の希望に沿った就業ができるよう、アンケートの実施や新規就業先の開拓などにも取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが、高齢者の豊かな経験と能力を地域のニーズに生かせるよう、皆様とともに頑張つてまいりたいと思っておりますので、一層のご協力をお願いし、私からの挨拶とさせていただきます。

令和元年度 定時総会が開催されました。

6月19日(水)、リニューアルオープンした文化会館あさひのホールにおいて令和元年度定時総会が開催され、報告事項に続いて二つの議案が提出され承認されました。

- 報告事項1 平成30年度収支補正予算について
- 報告事項2 平成31年度事業計画及び収支予算について
- 第1号議案 平成30年度事業報告及び決算について
- 第2号議案 役員の選任について



▲森 和実 市長

総会で下記の三人の方が新しい理事に選任されました。



【理事】

しげまるみとし
重丸美利さん



【理事】

まきながはつみ
牧永初美さん



【理事】

(健康福祉部長)
たけうちもとやす
竹内元康さん

総会后、新理事による理事会が行われました。

総会後の理事会で、会長、副会長及び常務理事が選定されました。また、各地域班を担当する理事と三つの委員会の担当理事が決まりました。(折り込みの資料をご覧ください)



- | | | | | | |
|---------------------|---------|----------|---------|-------------|-----------|
| 加藤雄二 常務理事
(事務局長) | 重丸美利 理事 | 伊藤和善 理事 | 熊谷季由 理事 | 竹内元康 健康福祉部長 | 山田祐司 長寿課長 |
| 玉置宗邦 理事 | 牧永初美 理事 | 酒井敏行 副会長 | 加藤紘司 会長 | 神原利子 理事 | 工藤逸子 理事 |

今年も会員交流研修旅行を計画します。

昨年は11月28日(水)に、京都・亀岡に65人の会員で日帰りバス旅行を楽しみました。今年も晩秋頃に旅行を計画していますので、多数のご参加をお待ちしております。



生きがいと 地域のニーズを 結びます

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

令和元年度の総会から **会員の表彰** を始めました

表彰の種類と受賞された会員のお名前(敬称略) 及び 表彰風景

長寿会員表彰

85歳以上で、直近5年間毎年就業実績のある方。ただし、30周年記念式典での受賞者を除く。

小野 久徳、伊藤 昇、和田 健吉、甲原 恒行



模範会員(就業実績)表彰

会員として10年以上登録し、直近5年間毎年就業し就業実績が上位10人の方。ただし、30周年記念式典での受賞者を除く。

大西よし子、澤井 文子、山田 裕子、後藤 陽子、山口 健一
石川 君子、林 潔、重丸 美利、町田 昇、浅見 鈴夫



模範会員(地域班班長)表彰

地域班の班長として7年以上就任した方。

塚本 昭朗、難波 清武、鵜飼 竹春、松村 登、大嶽 昌美



模範役員表彰

理事として10年以上在職し、令和元年度総会で退任した方。

加志 悦子、井村 弘

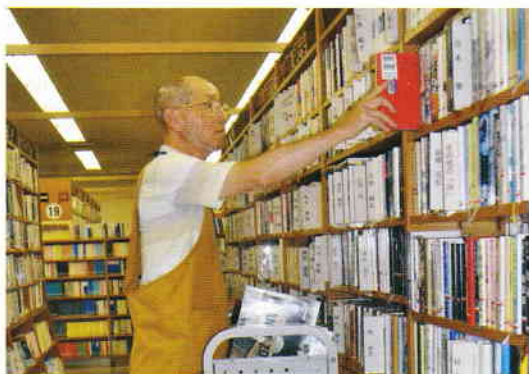


「キャッチフレーズ」

「安全就業スローガン」

作業現場訪問④

尾張旭市立図書館サポート業務



今回は市立図書館を訪問しました。業務内容は図書館に返却された本を元の本棚に戻すことが主な業務になります。

仕事のシフトは2名で、1週間を隔日3日の2時間(午後5時15分から7時15分)勤務になります。

6月29日(土)に取材に訪れたときは、ちょうど加藤勇さんの勤務日でお話を聞くことができました。感想は仕事内容がご自身のリズムに合っていて9年間勤務されているとのことでした。

[玉置]

体験型交通安全教室



1月31日(木)、多世代交流館で『体験型交通安全教室』が開催されました。参加者は26名で、警察官6名のご指導によりVR(バーチャルリアリティ)映像を使った交通事故体験のほか、運転者だけでなく自転車に乗る人や歩行者も知っておくべき交通法規の学習など、高齢者が交通事故にあわないための勉強をしました。 [工藤]



地域班活動だより

～第9班 交流会報告～



私たちの班は稲葉地区の会員で構成されており、毎年3月頃に「中央通老人いこいの家」周辺のごみ収集・清掃活動を行っています。

3月16日(土)の懇親会では、加志理事からセンターの事業状況について、特に事故防止や新会員募集などの説明がありました。その後、会員相互の活動状況や意見交換で親睦を図り、また、「稲葉みのる会」の協力でカラオケを交えて楽しいひと時を過ごしました。

[岩崎]

編集
後記

新元号となって3ヶ月。天皇・皇后両陛下をこの地にお迎えした植樹祭フィーバーの余韻も落ち着いた感がある。今年も記録的な大雨による被害が相次ぎ、昨年の西日本豪雨の爪痕が残る地域をまたも襲った。もはや「自らの命は自らで守る」という避難への呼びかけをせざるを得なくなった。意識の切り替えである。梅雨があければ今度は熱中症、猛暑との日々が続くだろう。高齢者に我慢は禁物だ。高齢者の運転事故も大きな社会問題。報道でも「高齢者が事故」と大きく取り上げられる。身体的な衰え、判断能力の低下など自身が思っている以上に運転技術は低下していそう。周囲でも運転免許の返納を耳にするようになった。重大事故にならないうちに考えてみたいものだ。 [神原]